

令和4年度 第3回 横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和4年10月28日(金) 午後1時～4時
開催場所	中央図書館5階第1会議室
出席者	金沢委員長、小澤委員、柴田委員、渡邊委員
欠席者	竹原委員
開催形態	公開(傍聴者3人)
議 題	令和3年度山内図書館指定管理業務の評価審議
議 事	<p><u>I章 図書館の運営</u></p> <p><u>I-(1) 基幹的な図書館サービス</u></p> <p>(委員長) 郷土資料の収集や配架について、市立図書館の考え方は。</p> <p>(事務局) 市立図書館では、郷土資料は網羅的に収集し、基本的には廃棄せず保存している。定期的に更新される資料は、古いものを書庫で保存することもある。</p> <p>(D委員) 郷土資料について、評価できる点と改善を要する点の両方にコメントがあるがどうするか。私は(I-(4))で評価できると書いた。青葉区がまだ発展していない時代の資料もあり、また来て読んでみたい本もあった。</p> <p>(C委員) 私は評価できると記載した。充実していることは評価できる。戦略的な収集などは検討の余地があるのではないかと改善提案と、両面あってもよいのでは。</p> <p>(B委員) 同意見。りんごの棚についても同じ。りんごの棚が設置されていることは評価できるが、アピールが必要だとも書いた。</p> <p>(委員長) 皆様のご意見を踏まえ、評価できる点と改善を要する点の両方に書く。「利用者」と言ったとき、現在の利用者のほかに、将来の利用者も含まれる。後者に対しても郷土資料は重要なので、網羅的に収集する方針は専門家として理解できる。いったん収集をやめてしまうと、10年、20年後に資料は集まらない。将来の利用者を見据えた配慮ではないか。この点は皆様の意見を踏まえて、文言を整えたい。</p> <p>児童書コーナーの郷土資料にも触れられているが、こちらはどうか。</p> <p>(事務局) 児童書コーナーの郷土資料には、一般向けのものも交じっている。例えば学校の課題になるテーマなど、よく利用される資料は一般向けであっても置いている。</p> <p>(委員長) 高等学校では新学習指導要領に「探究」の語が増え、大人向けの参考図書などが必要になってきている。生徒の学習面を考えれば、大人用、ティーンズ用、子ども用と厳密に区別するのは難しい。大人を対象として読み応えのあるものであっても、高校生が探究に活用できるものであれば、児童書やティーンズのコーナーにあってもよいのではないか。</p> <p>(C委員) 別の場所にもあると案内ができていれば、両方にあってもよいと思う。</p> <p>(委員長) そのような方向性でまとめる。</p> <p>⑥～⑧は、特別な支援を必要とする人や、高齢者向けとしてまとめてよいのではないか。</p> <p>(D委員) ⑥はりんごの棚のことを評価した。一方⑩で「障害者・外国人に向けたサービスは今後充実が必要」と書いてあるが、どうまとめるか。</p> <p>(委員長) ⑩はりんごの棚以外にも、対面朗読などの障害者サービスや、外国人向けの案</p>

内の充実や外国語でのおはなし会を増やす、という理解になるか。

(B委員) ⑦の朗読 CD の貸出はなかなかよかったと思う。⑥～⑧をまとめる際、朗読 CD のことは残してほしい。

(委員長) では⑥～⑧について、ティーンズの話は⑤にまとめた上で、りんごの棚と朗読 CD で大きくまとめる。⑪⑫も障害者サービスに触れているが、そのまま残す。⑮⑯は、団体貸出の広報と図書の活用ということでまとめる。

I-(2) 山内図書館独自の図書館サービス

(B委員) ④⑩⑪は、有料宅配サービスは継続してほしいが料金が高くなってしまった、利用しやすくなるようにしてほしいという趣旨。まとめてよいのでは。

(C委員) サービスの実施は評価し、改善点を別立てで書いてもよいと思う。

(全員) 了承

(C委員) ⑮は、児童書コーナーに掲示してあった横浜美大の卒業制作(絵画)のことを指している。図書館周辺のジオラマも横浜美大の学生の制作物なのか?

(事務局) そのとおり。

(C委員) せっかく掲示するのであれば、それが何なのか、どなたにもわかりやすいとよいのでは。横浜美大生の作品であること以外は、説明を聞くまでわからなかった。

(委員長) 簡単な説明表記を表示するということではよいのか。

(全員) 了承

(委員長) ①～③は図書取次サービス、⑤～⑦は SNS やホームページによる情報発信ということでまとめる。

I-(3) 地域の読書活動推進に向けた取組

(事務局) ⑬の大人の倶楽部活動について補足。令和3年度の立ち上げは延期になったが、4年度に活動を開始した。

(B委員) それならば、⑬は削除してよい。

(委員長) ⑩の辞書と郷土資料のコメントは I-(1)にもある。どちらかにまとめるか。

(C委員) どちらに入れるか悩んだが、両方に該当すると考え書いた。同じことを複数の項目に記載してよいのか。

(事務局) 切り口や観点が違うのであれば、両方にあっても問題はない。

(C委員) ⑩は、辞書については「地域の読書活動」という点では不要かもしれないが、郷土資料が充実していることは地域の読書活動推進につながるという意味では、こちらにも残して問題ないのでは。

(委員長) レファレンスブックにもつながることなので、I-(1)はそのまま残し、I-(3)では郷土資料のみを残す。

(C委員) ⑦⑧の朗読 CD は I-(1)にも記載があるが、ここでは「青葉区役所との連携で」とある。地域の読書活動という視点の記載だと思うので、残してもよいのでは。

(委員長) I-(1)とは違う書きぶりを生かしつつまとめる。その他、③～⑤はティーンズコーナーのこと、⑭⑮は事業効果の検証のことなので、まとめる。

I-(4) 山内図書館の目標に関わる取組

(委員長) ⑥の「職員全てが司書資格を有する」は、IV-(1)に同様の記述がある。

(C委員) 山内図書館の目標に関する取組として、誰にとっても利用しやすい図書館を目指すことにつながる体制だと考えてここに記載した。組織運営の体制としても評価できるので、IV-(1)にも記載した。

(D委員) 指定管理者記述欄に「レファレンス専用デスク」に関する記述がある。ここに司書が常駐できる体制を評価するような記述にしてはどうか。

(B委員) 「山内図書館の目標の振り返り」にも、「やまうちよろず相談処」について「司書が常駐することで～」とある。全員が司書なら常駐を達成できる。

(委員長) 司書率が 100 パーセントなので、レファレンスサービスが充実するという書きぶりで残す。その他、⑦⑧は目標の掲示方法に関することなのでまとめる。

I-(5) 市民からの意見を聴取し反映させる取組

(委員長) ⑭の「やまちゃんおはなしの部屋」の有効活用に関する記述は、読書に関する地域の団体へ部屋を貸すことについて言及しているのか。

(事務局) 市立図書館の他の館も含め、地区センターのように一般に広く部屋を貸すことはしていない。このコメントをこの項目に残すか、他に移動するか。

(B委員) 市民からの意見というよりは、I-(3)の読書活動推進という気がする。

(C委員) それでもよいが、I-(2)の独自サービスにも該当しそうだ。

(B委員) 「有効活用方法」を考えるのであれば、山内図書館独自のアイデアが出てくるかもしれない。

(D委員) I-(2)とも言えなくはないが、基幹的な図書館サービスの一つとして、I-(1)という気もする。

(委員長) I-(1)、I-(2)、I-(3)のうちどこに移動するか検討し、第4回委員会で提案する。その他、①～③は、利用者満足度調査の結果に関すること、④⑤は意見の共有化や改善に向けた検討に関すること、⑧⑨は意見箱の話なので、それぞれまとめる。

I 章の総括

(C委員) ②③⑦はシートの審議を反映し、りんごの棚、朗読 CD、ティーンズにまとめられるのでは。改善に向けた提案でまとめた箇所も同様に、審議に沿ってまとめては。

(委員長) そのようにする。⑧⑨は、報告書からの記載。両者は少し視点が違うが、まとまるならばまとめる。

改善に向けた提案では、⑩⑪⑫⑬で Web サイトや SNS など、広報に関することが多く寄せられているので、それも書き方によってはまとめられる。⑰の大人の倶楽部活動は、評価シートと同様、削除してよいか。

(B委員) 削除でよい。

II章 施設・整備の維持管理

II-(1) 施設・設備の良好な維持管理

(事務局) ⑧⑨の入口天井の塗装のはがれについて補足。ヒアリングでのご指摘の後、応急処置として、はがれを指定管理者が撤去した。ただ、根本的には塗装の下地からの修繕が必要で、協定書に沿うと市で実施するべき修繕となりそうである。⑧でのご指摘の通り、予算計上の問題を解決しながら検討すべき問題ととらえている。

(委員長) ④⑤は玄関前のデッキやベンチに関することなのでまとめる。⑧⑨は市側の対応も必要とのことだが、同じ内容なのでまとめる。

II-(2) 環境・衛生に配慮した施設の維持

(B委員) ⑧は書くか悩んだ。トイレを使ったとき、汚れているというイメージは特になかった。汚れがたまたまなのか、恒常的なのがわからない。

(委員長) 利用者に意見として寄せられたので、真摯に受け止めるべき。①②で「清掃が行き届いている」とあるが、これは廊下、階段、床等のことなので、⑧と矛盾はしない。トイレの意見は改善を要する点に残してよいのでは。

(C委員) 利用者はたまたま汚れていたタイミングで使用したかもしれないが、それを施設側に伝えられないこと、伝える先がわからないことが不満につながると思う。清掃に留意することはもちろんとして、「汚れを見つけた時はここへ連絡を」と明示し、連絡すべきところがわかることが重要ではないか。「今トイレが汚い」と言えればその場で解決し、不満も少し解消される。そういった改善のしかたもあるのでは。このコメントを残した上で、そういった点も加えられるとよりよいのでは。

(D委員) ①②はまとめて、トイレの件と矛盾しない書き方をすればよい。

(委員長) その他、④⑤⑥は、コロナ対策に関することなのでまとめる。

II章の総括

(C委員) II-(1)で記載した入口の天井部分の塗装のはがれの件は、予算要求も関連する、重要で難しい問題もあるので総括に追加してはどうか。今回は応急対応をしたということだが、今後も同様のことが考えられる。

(委員長) その点は追加する。総括の⑨について、「利用者の声を吸い上げる媒体を増やす」とあるが、これは施設設備に特化したことか。

(D委員) 施設管理に関する苦情を言える窓口があれば望ましい、ということ。

(委員長) ⑨に「施設設備に関する」といった文言を加える。また、③の後半と④はコロナ対策に関することなので、まとめる。

(C委員) II章は「安心・安全・快適」がすべてに共通すると思うので、キーワードとしてまとめ部分に入るとよい。

(委員長) そのようにする。

Ⅲ章 緊急時の対応

Ⅲ-(1) 緊急時対応の仕組み整備

(委員長) ⑤の「将来的には利用者がある状態で避難訓練ができることが望ましい」は、Ⅲ-(3)の①②にも同様の意見があるのでそちらへまとめる。②③は、緊急連絡先と連絡体制のことなのでまとめる。

(全員) 了承

Ⅲ-(2) 防犯や事故防止の対応

(委員長) ②③は防犯カメラに関する事なのでまとめる。すでに4台稼働しているということだが、④にあるように増設の方がいいと考えるか。

(事務局) ④については、死角の有無がわかったということではないが、きちんと死角を検証してほしいという趣旨だ、という補足をいただいている。

(C委員) カメラは防犯対策の一つの手段。巡回頻度を高めることも考えられるので、防犯カメラの増設などの対応・対策を検討というニュアンスの文言にしてはどうか。

(委員長) そうしておけば、他の方法も考えてもらえるかもしれない。それでよいか。

(全員) 了承

Ⅲ-(3) 防災業務

(委員長) ①②と、Ⅲ-(1)の「利用者がある状態での避難訓練」をまとめる。

(全員) 了承

Ⅲ章の総括

(委員長) ⑨の「実地訓練」とは、⑦⑧と同じで、with コロナの考え方のもとで、利用者参加型の訓練を行うという趣旨でよいか。

(D委員) そのとおり。

(委員長) では⑦⑧⑨をまとめる。①②は防犯カメラのことでまとめられるか。②の後半の「警察署との連携」は何を指すのか。

(事務局) Ⅲ-(2)の指定管理者記述欄cに、警察官を講師に招き対応を学んだとある。

(C委員) ⑥の「警察官に対応を教えてもらう訓練」と同じことを指すのでは。②の後半と⑥をまとめ、②の前半と①は、防犯対策として、防犯カメラとスタッフの巡視でまとめるのはどうか。

(委員長) 「警察署との連携」というと、幅広く、継続してコラボレーションできていると読める。

(D委員) 「連携」とまではいかないかもしれない。⑥は「青葉警察署の警察官に対応を教えてもらう研修」と書いては。

(委員長) ②の後半と⑥をそのようにまとめ、第4回委員会で提案する。①と②の前半は、防犯対策としてまとめる。

IV章 組織運営及び体制

IV-(1) 業務の執行体制

(委員長) ①～④は、司書と施設管理の両方に有資格者がいることを言っているので、まとめる。⑤のペンキのはがれについては、II-(1)に同様の記述があるのでそちらへまとめてよいか。

(全員) 了承

IV-(2) 個人情報保護及び守秘義務

(委員長) ①②は、指定管理者独自のプライバシーマネジメントシステムに関することなのでまとめる。⑥は研修やテストの内容変更についてだが、テストについては、指定管理者記述欄のcや⑤で、前年度と違う形で実施されたとある。今後に向け注意を促すという意味ならば、改善を要する点に残してもよいと思うがどうか。

(C委員) 「今後も毎回変更するなど」と、「今後も」を加筆してはどうか。

(委員長) そのように修正する。

(事務局) ③の「規程」とは、指定管理者記述のeの情報公開規程のことでよいか。

(A委員) そのとおり。「情報公開規程」としてほしい。

IV-(3) 職員の能力向上・情報共有を図る研修等の取組

(委員長) ①～③は、外部研修への参加、内部研修の実施、アルバイトスタッフの研修について評価できるという内容なので、まとめる。

(全員) 了承

IV-(4) 財務・経理業務

(委員長) ミニミニショップについて、⑤は独自性を評価し、ディスプレイ用のアイテムやブックカバーの販売を提案している。一方⑧は、「ショップの立ち位置が不明確」と指摘した上で、必要最低限の文房具のほかに郷土資料等の提供販売を前面に出すとよい、している。どういうコンセプトにして、どんな方針で何を販売するか、皆様にご意見を伺いたい。収益面の考慮も必要。

(B委員) 収益面から言えば、コンセプトというより、シンプルに収入が上がることを目指し、そういうものを売る方がいい。

(C委員) ⑤を書いたが、⑧と大きな相違はない。ミニミニショップはそれ自体に独自性がありよいコンテンツなので「評価できる点」に入れたが、それをもっと活かし、特徴をしっかりと出した方がよいという趣旨であり、⑧の「立ち位置が不明確」と同じではないか。「改善を要する点」に入れた方がフィットするかもしれない。

(D委員) ⑧は「立ち位置」よりは「コンセプト」がじっくりくるかもしれない。

(委員長) 否定的な意見ではなく、ミニミニショップは独自性のある取り組みだから今後も続けて欲しい。販売品については収益面も考慮しなければならないので、提案として、例えば⑤や⑧で書かれているようなものを検討してみてはということ、山内図書館側に投げかけるように書く方向でよいか。

	<p>(全員) 了承</p> <p>(B委員) ①に「収支のバランスがとれた運営ができています」とあるが、令和3年度の収支報告書では、支出合計が収入合計を上回っている。経理的には、「バランスがとれている」というのは収入と支出が一致している時に言うものである。収入の額にだいたい見合うような支出という意味では「バランスがとれた」と言えるが、経理的な観点で「収入と支出が一致している」と読まれてしまうと、そうではない。文言を修正するなら「概ね収入に見合った支出になっている」という感じか。</p> <p>(委員長) そのように修正する。</p> <p>IV章の総括</p> <p>(委員長) ①②は、有資格者の配置と研修体制でまとめてよいか。</p> <p>(全委員) 了承</p> <p>(委員長) ⑧のミニミニショップについては、評価シートの審議に合わせて修正する。文言は第4回委員会で提案し、ご意見をいただきたい。</p> <p>(C委員) ⑦の研修の内容変更について、「今後も」と入れるか。</p> <p>(委員長) そのように修正する。</p> <p>(C委員) IV-(1)の⑥にあった「課題の共有がなされていることは評価できるが、予算的に対応できない課題についてそのままにしておくことは推奨できない」を、「改善に向けた提案」に追加してほしい。予算をどう計上するかを考えてほしいという側面はあるが、今すぐに予算化できず、山内図書館の担当部分ではなさそうだから放置するというのはよくない。市と協議をしたり、応急処置などどちらかが今できることがあるかを検討したりするなど、そのままにせず対策が必要という趣旨。大変難しい問題ということは重々承知しているが、だからこそ今後のためにも入れてほしい。支出の分担が判明するまで手をつけないことになりがちだが、それでは危険にもつながってくる。</p> <p>(委員長) では「改善に向けた提案」の方にまとめ、IV-(1)の⑥のように、前半には課題の共有がなされていることへの評価を書き、後半に提案を書く。</p> <p>(委員長) 今回の審議を踏まえ、評価報告書の案を事務局と整理し、第4回委員会で提案する。</p>
<p>資 料</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 令和4年度第2回横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会 会議録 (案)</p> <p>(2) 山内図書館 令和3年度管理業務評価シート (委員評価とりまとめ版)</p> <p>資料2-1 評価シート (1ページ~19ページ)</p> <p>資料2-2 評価結果の総括 (20ページ~24ページ)</p> <p>2 特記事項</p> <p>(1) 令和4年度第2回委員会の会議録は承認。</p> <p>(2) 令和4年度第4回委員会は令和4年11月25日(金)開催予定。</p>